



元気っ子

No.272 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

令和2年度が始まります。ながさわ保育園に新しく入園された皆さん、そして進級された皆さん、本当におめでとうございます。縮小したかたちではありましたが、無事に「卒園式」「入園式」を行えたこと、本当に嬉しく思います。これも保護者の皆様のご理解ご協力がありましたこと、また職員一同が協力してこの難局に対応できたことがとても大きかったと思います。

この約一ヶ月の間に、世界はコロナ・パンデミックに陥りました。東京オリンピック・パラリンピックは延期が決定し、また現在、東京都は感染爆発の重大局面となっています。もはや政府が緊急事態を宣言するのも秒読みではないかと思えます。日本がニューヨークのようにならないためにも、また医療崩壊を避けるためにも、私たちは「即刻」これまでとは違う行動が求められています。まずは一人一人が自覚をもって感染予防に努めなくてはなりません。東京都のように「外出自粛要請」が出てから外出を自粛するのでははっきり言って遅いと思います。各自が「今できること」をしっかり考えて行動するようにして下さい。もし万一、保育園関係者に感染者が出るようなことになったら、保育園は休園を強いられます。そうならないためにも、今は不自由だったり、退屈だったりする気持ちに耐えて、皆で痛み分けをしながら力を合わせてこの難局を乗り越えましょう。

令和2年度の保護者役員名簿の発表と共に、4月からの行事予定を配布させて頂きました。今年に関して言えば、コロナウィルス感染拡大によって、年間計画が非常に見通しにくくなるのが予想されます。たとえば6月から始まる「保育参加」や「運動会」は通常通り開催できるのだろうか。「保育参加」で言えば「3密（密室、密集、密接）」になってしまうだろうし、「運動会」にしても、決して広いとは言えない園庭にあれだけの数の保護者を入れて開催できるのだろうか。開催時期を年度の後半に移すことも検討しなくてはならなくなることもあるかもしれません。今年とはとにかく「予定」として行事を捉えておかななくてはならないだろう、そういった状況です。

そんな中でも保育園では「理念」「方針」「目標」を見失うことなく、子どもたちに向き合っています。令和元年度の最後にはすでにいくつかの行事が例年のように開催することができなくなっていました。そんな中でも職員は多くの制限のかかるなかで子どもたちが楽しめるようにと一生懸命アイデアを具現化して、行事を企画し直してしてくれました。保育士の書く日誌にも全て目を通すのですが、どの保育士も常に「子どもの最善の利益」「子どもの気持ちに寄り添った保育」を心がけている様子が伺えて、いつも嬉しくなります。そして世界危機ともいえるこのタイミングでこそ、保育園が保育目標でもある「大人も子どもも集える心安らぐ地域のオアシス」になるべく、保護者の皆様をはじめ、地域の人々の心のヨリドコロとなるよう、職員一同、ゆったりとした気持ちで皆様をお迎えしていこうと思います。令和2年度もどうぞよろしくお願い致します。

